

公益社団法人 日本水産学会  
平成 28 年度第 1 回臨時理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 28 年 7 月 2 日(土) 15 時 02 分～16 時 37 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学  
品川キャンパス 2 号館 2 階 200A-2 会議室(東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 17 名, 定足数 9 名
- 4 出席理事数 12 名  
(本人出席) 秋山秀樹, 荒井克俊, 菅野信弘, 木島明博, 黒倉 寿, 佐藤秀一, 青海忠久, 塚本勝巳,  
萩原篤志, 山下 洋, 良永知義, 和田時夫  
(監事出席) 北田修一  
(幹事出席) 荒川久幸, 鈴木直樹, 芳賀 穰, 糸井史朗, 二見邦彦, 小林武志
- 5 議 案  
決議事項  
第 1 号議案 「平成 28 年熊本地震への対応」の件  
第 2 号議案 「特定個人情報の外部委託に関する合意書の締結」の件  
第 3 号議案 「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員追加」の件  
第 4 号議案 「名誉会員野村 稔氏の追悼文」の件  
第 5 号議案 「第 15 回日本農学進歩賞受賞者候補者の推薦」の件  
第 6 号議案 「科学技術系専門職員の男女共同参画実態調査の実施におけるアンケート設問」の件  
第 7 号議案 「入会承認」の件  
第 8 号議案 「正会員から学生会員への会員資格変更」の件  
第 9 号議案 「日本水産学会創立 85 周年記念事業募金趣意書」の件

報告事項 第 4 回理事会以降の職務執行の状況  
その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 塚本会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「平成 28 年熊本地震への対応」の件

和田理事から, 平成 28 年熊本地震による水産業関連の被害状況の説明があった。さらに, 塚本会長より, 東日本大震災時における会費免除の取扱いに関する説明があった。

この件について, 以下の質疑応答があった。

荒井(克)理事: 東日本大震災時に実施した会費免除は, 学会から働きかけがあったのか。

佐藤理事: 特に, 学会から会費免除についての働きかけはなかった。

荒井(克)理事: 平成 28 年熊本地震罹災者の会費免除も, 申請ごとに対応すべきである。

黒倉理事: 全会員ではなく九州支部に会費免除規定を伝えてはどうか。

審議の結果, 九州支部に学会の会費免除に関する規定を伝え, 罹災会員からの会費免除の申請があれば, 規定にしたがい, 理事会で検討することを出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 「特定個人情報の外部委託に関する合意書の締結」の件

佐藤総務担当理事から, 特定個人情報の外部委託に関する合意書の原案について説明があった。

審議の結果, 出席理事全員一致で原案通り可決した。

この件について, 以下の質疑応答があった。

北田監事: マイナンバーに係る業務内容を説明して欲しい。

佐藤理事：学会会計業務を顧問会計事務所に委託しており，学会が支払う給与や謝金等の支払に伴う税務処理にマイナンバーが必要となる。特定個人情報の外部委託に伴い，会計事務所に支払う顧問料が増額となる。

第3号議案「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員追加」の件

山下東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)担当理事から，東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員の追加について原案の説明があった。審議の結果，出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出]片山知史

第4号議案「名誉会員野村 稔氏の追悼文」の件

佐藤総務担当理事から，名誉会員野村 稔氏の追悼文について原案の説明があった。審議の結果，原案を一部修正の上，出席理事全員一致で可決した。

第5号議案「第15回日本農学進歩賞受賞者候補者の推薦」の件

荒井(克)学会賞担当理事から，第15回日本農学進歩賞受賞者候補者の推薦について原案の説明があった。審議の結果，出席理事全員一致で原案通り可決した。

第6号議案「科学技術系専門職員の男女共同参画実態調査の実施におけるアンケート設問」の件

良永男女共同参画担当理事から，科学技術系専門職員の男女共同参画実態調査の実施におけるアンケート設問について原案の説明があった。審議の結果，出席理事全員一致で可決した。また，日本水産学会も本アンケートに参画することを確認した。

本件について，以下の質疑応答があった。

塚本会長：アンケートの実施方法はどのようになるのか。

佐藤理事：今回は，会員宛の電子メールでアンケート実施を通知し，Webを通じて実施した。

良永理事：本アンケートも前回と同様に実施する予定である。

第7号議案「入会承認」の件

審議の結果，出席理事全員一致で原案通り可決した。

第8号議案「正会員から学生会員への会員資格変更」の件

審議の結果，出席理事全員一致で原案通り可決した。

第9号議案「日本水産学会創立85周年記念事業募金趣意書等」の件

ここで，塚本会長より「日本水産学会創立95周年記念事業募金趣意書等」について審議したいとの動議が出され，本動議の審議を行うことについて，出席理事全員一致で可決した。

青海日本水産学会創立85周年記念事業委員会(特別委員会)担当理事より，日本水産学会創立85周年記念事業募金趣意書等について原案の説明があった。審議の結果，出席理事全員一致で原案通り可決した。

(報告事項)

第4回理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長より，平成28年度秋季大会における会長の業務を青海副会長に委任する旨報告があった。

・庶務関係

佐藤総務担当理事より，次の報告があった。

1) 平成28・29年度支部幹事の変更について

関東支部 山下倫明[中国・四国支部に異動] 平松一彦[選出]

中国・四国支部 植松一真[逝去] 今井千文[選出]

2) 学会事務局の夏季休業期間は8月15日(月)と16日(火)である。

3) 協賛について

共催，協賛，後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

第14回高付加価値食品開発のためのフォーラム

主催 日本食品・機械研究会

協賛 日本栄養・食糧学会 他16団体

日程 平成28年9月23日(金)・24日(土)

場所 帝人アカデミー富士(静岡県裾野市)  
希望 協賛  
負担金 なし

・企画広報関係

良永担当理事より、日本水産学会誌記事の編集方針(案)が修正中であり、次回委員会で確定する見込である旨報告があった。

・財務関係

山下担当理事 特になし。

・編集関係

黒倉担当理事より、7月26日に委員会を開催し、主に Fisheries Science 誌のインパクトファクターの向上策を検討する予定である旨報告があった。

この件について、佐藤理事より、昨年に Fisheries Science 誌に掲載された論文数が一昨年の論文数より多くなり、被引用回数がそれに追いつけず、インパクトファクターが下がった旨追加説明があった。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事 特になし。

・シンポジウム関係

木島担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 28 年度秋季大会において、シンポジウム1件(新たな貝毒リスク管理措置の導入に向けた研究)、ミニシンポジウム4件(水産分野におけるタンパク質研究の現状と展望;日本の野生メダカの保全と新たな課題-個体群減少と遺伝的攪乱-;水産教育現場から次世代育成を考える;ICTの水産業への導入:最前線と今後の課題)を開催する。
- 2) 平成 29 年度春季大会におけるシンポジウム2件(森川里海のつながりを科学で説明できるか?;福島の淡水域における放射能汚染と魚類に及ぼす影響:これまでとこれから)の企画案を検討している。

・出版関係

木島担当理事より、次の報告があった。

- 1) 第1回出版委員会を7月12日に開催する。
- 2) 平成 28 年度秋季大会シンポジウム「新たな貝毒リスク管理措置の導入に向けた研究」の水産学シリーズでの出版について、審議を継続中である。

・水産技術誌監修関係

秋山担当理事より、次の報告があった。

- 1) 本年度は「アサリの垂下養殖技術」に関する特集号を「9巻1号」で印刷する予定である。
- 2) 「アサリ垂下養殖技術」特集号の企画・編集委員会は7月上旬に開催する予定である。
- 3) 平成 28 年度第1回委員会を7月末までに開催する予定である。

・国際交流関係

和田担当理事より、8月21日から開催されるアメリカ水産学会へ佐藤国際交流委員会委員長が出席する予定であり、アメリカ水産学会と同時に開催される世界水産学協議会において、規約や会費等の改定が協議される旨報告があった。

この件について、佐藤理事より、次の補足説明があった。

- 1) 昨年の同協議会において、会員一名あたりの会費の値上げが提案された。
- 2) この提案に対し、会計報告を求めたところ、その概要が同協議会より示された。継続して、詳細な会計報告を求めている。
- 3) 他の学会の会費納入状況を鑑みると、日本水産学会は会費の改定には賛同できず、本年の同協議会において、会費改定について調整を図りたい。

・水産教育関係

荒井(克)担当理事 特になし。

・水産政策関係

黒倉担当理事より、6月18日に開催された「文化13(1816)年江戸内湾漁業協定書200周年記念 再現! 神奈川集会」と題するワークショップを共催した旨報告があった。

・漁業・資源管理関係

和田担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 28 年度春季大会において漁業懇話会講演会を開催した。
  - 2) 漁業懇話会委員会を 3 月 26 日に開催し、平成 28 年度事業計画と平成 28 年度秋季大会における講演会について審議した。
- ・水産利用関係  
菅野担当理事より、第 1 回講演会(テーマ:ハラールにおける水産物利用の展望)を 7 月 11 日に開催する旨報告があった。
- ・水産増殖関係  
木島担当理事より、次の報告があった。
- 1) 第 2 回水産増殖懇話会委員会を 9 月 8 日に開催する。
  - 2) 委員の交代が行われ(第 4 回理事会で承認済み)、副委員長に小嶋智一氏が就任した。
  - 3) 第 2 回講演会(テーマ:魚類養殖の新しいビジネスモデル)を 9 月 8 日に開催する。
- ・水圏環境関係  
山下担当理事 特になし。
- ・男女共同参画関係  
良永担当理事 特になし。
- ・社会連携関係 担当理事 欠席
- ・将来計画関係  
青海担当理事 特になし。
- ・北海道支部, 地域連携関係  
塚本会長 特になし。
- ・東北支部, 地域連携関係  
秋山担当理事より、次の報告があった。
- 1) 6 月 28 日に支部交付金を受領した。
  - 2) 北海道支部と合同で支部大会を 10 月 22, 23 日に函館市(北海道大学)で開催する。
  - 3) 北海道・東北支部の若手会の講演会(テーマ:クロマグロの資源管理と漁業者, 加工業者が生き残る道)を 10 月 22 日に開催する。
  - 4) NPO 法人ナチュラルサイエンスが主催するシンポジウム「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2016」を東北支部が後援し, 7 月 17 日に開催される。
  - 5) 第 1 回連絡調整員会議を開催した(メール審議)。
  - 6) 10 月 27 日に開催される全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会の東北地区大会で支部長奨励賞を授与する。
  - 7) 支部会報を 6 月 28 日に発行した。
  - 8) 支部大会実行委員会を 7 月 19 日に開催する。
- ・関東支部, 地域連携関係  
菅野担当理事より、次の報告があった。
- 1) 支部交付金を受領した。
  - 2) 支部幹事が交代した。
- ・中部支部, 地域連携関係  
塚本会長より、支部大会を福井県立大学小浜キャンパスで 12 月 3 日に開催する旨報告があった。
- ・近畿支部, 地域連携関係  
塚本会長より、秋季大会の申込状況について報告があった。
- ・中国・四国支部, 地域連携関係  
塚本会長より、次の報告があった。
- 1) 支部幹事が交代した。
  - 2) 支部大会での発表者の推薦を 6 月末まで受け付けている。推薦が無ければ, 事務局から発表者を指名し, 依頼する。
  - 3) 平成 30 年度秋季大会の主担当機関について, 個別に依頼・検討中である。
- ・九州支部, 地域連携関係

- 塚本会長 特になし。
- ・英文書籍監修委員会(特別委員会)  
佐藤担当理事 特になし。
  - ・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)  
山下担当理事より、委員を追加した旨報告があった。
  - ・水産学若手の会(特別委員会)  
塚本会長より、職位と年齢を含めた会員名簿を作成した旨報告があった。
  - ・日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会(特別委員会)  
青海担当理事 特になし。
  - ・財務検討委員会(特別委員会)  
山下担当理事 特になし。
  - ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係  
塚本会長より、11 月 18 日に開催予定のシンポジウム案について報告があった。  
この件について、黒倉理事と和田理事から、当初案とは異なる内容となる見込である旨補足説明があった。
- その他確認事項
- ・平成 28 年度事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程について  
佐藤総務担当理事より、平成 28 年度事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程についての説明があり、日程を確認した。
  - ・次回の理事会について  
佐藤総務担当理事より、平成 28 年度理事会の開催日と開催場所の説明があり、開催場所を一部変更の上、開催日と開催場所を確認した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16 時 37 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 28 年 7 月 2 日  
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監事